

## 第8回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

□日時 : 2018年(平成30年)3月29日(木) 午後3時30分 開会

□場所 : 藤沢市役所 本庁舎7階7-1会議室

□出席者 : 委員12名(五十音順・敬称略・下線は代理出席)

坏 出穂	伊澤 明	内海 芳宏	大嶋 洋一
岡村 敏之	小堤 亮彦	澤田 久美子	杉山 茂
西山 幸彦	廣田 和江	細谷 昭二	三上 雅之

□次第

- 1 開会
- 2 成立宣言
- 3 議題
  - (1)平成29年度の取り組み
  - (2)平成30年度の実施予定施策
  - (3)藤沢駅周辺における自転車利用環境づくり
- 4 閉会

□配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 座席表
- ・ 協議会資料(パワーポイント)

□傍聴者 : 0名

午後 3 時30分 開会

○事務局（佐藤） それでは、定刻になりましたので、ただいまから第 8 回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会を開催いたします。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、本協議会に御出席賜りまして、まことにありがとうございます。

開会に当たりまして、都市計画課主幹の額賀から一言御挨拶申し上げます。

〔都市計画課主幹挨拶〕

○事務局（佐藤） それでは、これより協議会に移らせていただきます。

初めに、新委員の御紹介をいたします。

私のほうでお名前をお呼びいたしますので、御起立いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

藤沢商工会議所の事務局長である大嶋洋一委員に就任していただいております。

大嶋委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

〔配付資料の確認〕

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○事務局（佐藤） それでは、ここで協議会の成立について御報告いたします。

ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会設置要綱第 8 条第 2 項において、協議会の成立要件といたしまして、委員の過半数の出席が必要とされております。現在の委員定数は15名です。本日は代理出席も含めて12名の委員の方に御出席いただいております。したがって、本日の協議会が成立しましたことを御報告申し上げます。

なお、協議会は公開であり、配付資料、会議録はホームページ等で公開させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○事務局（佐藤） 続いて、本日の議題についてですが、次第のとおり、3 件を予定しております。1 件目として、平成29年度の取り組み、2 件目として、平成30年度の実施予定施策、3 件目として、藤沢駅周辺における自転車利用環境づくりについてとなっております。運営につきましてはこの順で進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、今後の議題等につきましては岡村会長に司会進行をお願ひいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○岡村会長 まず最初に、傍聴者の確認をさせていただきます。本日は傍聴を希望されている方はいらっしゃいますか。

○事務局（佐藤） 本日、傍聴を希望している方はおりません。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○岡村会長 それでは、次第に沿って進めてまいります。

3. 議題(1)平成29年度の取り組みについて、御説明をお願いします。

〔(1)平成29年度の取り組みについて説明、省略〕

○岡村会長 かなり分量が多かったようですが、ここまでで御質問、御発言がありましたらよろしく願いいたします。今まではこんなに長くなかったというのは、逆にいろいろな施策、課題が出てきたということかと思えます。いかがでしょうか。

○澤田委員 澤田と申します。

最初の「はしる」の3. 議題の(1)平成29年度の取り組みの中で、藤沢石川線があります。私は本藤沢と善行の地域から選ばれていますので、こちらを重点的に調べてきました。今日も通ってまいりましたが、今、トンネルがつくられているのです。道幅もすごく広がって、快適ですが、多分住民の皆さんも思っていると思うのですが、トンネルがすごく小さいのです。町田線のほうの教育センターから藤沢市民病院に行くところにもトンネルがあるのですが、そこは住民の方が余りたくさん利用するところではないのですが、本町の駅のところは朝は学生が多く、かなりの人数です。その割には小さいと思います。上にもつくられているし、高速道路ですので、そのぐらしか掘れなかったのかと思うのですが、あれは小さい感じがするのですが、いかがでしょうか。

あと、あそこは自転車は別で、歩行のみだと思うのですが、そのところを教えてくださいたいと思います。

○事務局（河野） 御質問ありがとうございます。道路整備課、河野が答えさせていただきます。

上に国道1号線が通っておりまして、余り大きいトンネルがつかれないということで、あれぐらいの大きさになっております。自転車は走れないトンネルになっておりまして、人だけ通るトンネルになっております。

○事務局（西山） 今の件で若干補足をします。

あちらの道路全体としては、16メートルという計画道路がございまして、その中で歩道、自転車の走行する空間、幅員と、車道をつくってきている経過があります。国道と交差する部分については、現在の国道の橋台が立っている中で、どうしても幅員として足りない部分があります。そういう中で、前後の同等として歩行者が歩けるスペースを確保していくということで、現在、3メートルの歩道区間を設けたという経過があります。

○岡村会長 最後に交通事故の件を御紹介いただきまして、スライドの43ですが、平成25年から29年まで全発生件数は順調に減ってきて、全国的にもたしかそうだったと記憶しています。平成28年から29年についても全国的にはたしか減少だったと記憶していますが、全発生件数の増加、今、引き算をすると、142件増えていて、うち自転車の事故の発生件数がプラス118なので、事故発生件数の増加分のかなりが自転車関連の事故だという読み方だろうと思います。質問は、何でこんなに増えたのかというところで、今まで事故にならなかったのが通報されるようになったとか、自転車が主たる責任があるような事故が増えているようだとか、何か感覚的なものがあつたら、市の方でも警察の方でも

結構ですので、教えていただければと思います。

○小堤委員 はっきりとした原因はわからないのですが、藤沢北警察署と藤沢警察署、特に藤沢警察署は県下トップクラスの発生件数の増加が見られました。理由は定かではないのです。ただ、資料にはないのですが、ことしに入ってからなぜか非常に減少傾向にあります。藤沢警察署にあっては、昨年比マイナス85です。ことし始まってから3カ月しかたっていないのですが、藤沢北警察署にあってはマイナス2です。ということで、かなり減少傾向にあります。昨年増えた理由については、はっきりとした理由はわかりません。

○澤田委員 3. 議題(1)の11のところですが、藤沢駅辻堂駅線【C】がありまして、湘南モールフィル前というので、これは歩道と車道が分かれているんですね。私は映画を見た帰り、駅まで歩くことにしておりまして、一番最初歩いたときに、すごいなと思ったのです。中国は道幅がもっと広いのですが、歩道と自転車が分かれていますので、中国的になったと思ったのです。何せ狭いのです。私が通るのは、午前中に映画を見ますので、大体お昼から2時ぐらいまでなのですが、そのときは通勤ラッシュではないのですが、おばさんというか、我々みたいな人が自転車に乗っていると、もたもたしているらしくて、後ろの若い学生たちがみんな追い越すのですが、追い越せないときは、歩道のところを歩いて、それでまた車道に入るということを何回も見ましたので、これはすごく危ないと思ったのです。前がとてもしつこくだと、合わせることも大変だと思いますが、追い越すことはとても危ないということを、28の自転車マナーアップ運動、あと、まもる（交通ルールの遵守）とありますので、このときに、車道のところで追い越すと非常に危険だということと、歩道を歩いている人がすごく迷惑だということ、この運動のときに織り込んでお話ししていただければと思います。

○事務局（佐藤（防犯）） 御意見ありがとうございます。防犯交通安全の佐藤です。

自転車マナーアップ運動ですが、基本的には直接事故に直結するものを訴えながらお渡しをしているところですが、近い事例でいくと、最近、歩車分離の交差点のところで、今なら車道が青だからと歩道から急に車道側に出るという、そういう危険な走行については今後周知していこうという話もありましたので、今の御意見を参考に、周知啓発に力を入れていきたいと思えます。

○岡村会長 今ちょうど話が出たので聞くのですが、湘南モールフィルの前の自転車道に見えるところは、自転車歩行者道なのです。歩行者はいないかもしれませんが、ゆっくり通らないといけないところなので、早く行きたかったら、車道の左側を歩いてくださいという啓発、そういう形で啓発するのがいいのかよくわかりませんが、ルールとしてはそうだという理解でいいわけですね。なので、あくまでここはゆっくり通るのがルール上はあるべき正しい姿ということ。そういうことを含めて全体の話と、ここでの通り方というか、使い方を、こういう形の整備がいいのかというのは以前何か議論があったようなところもあります。線路沿いだということで、こうだという経緯

がたしかあったと思います。これはこの形を前提に啓発していくことかと思しますので、これも引き続きそういう形でということかと思します。

ほかはいかがでしょうか。

○坏委員 市民委員の坏と申します。

3. 議題(1)の32、自転車街頭点検のことが書いてありました。平成29年度は何回ぐらいされたのかということと、平成30年度に行われる回数と、市民の人に周知とかがありましたら教えてください。

○事務局(佐藤(防犯)) 31のスライドをご覧ください。29年度、実施できたのは8回でした。30年度は、ここに記載の地区、合わせて9回行う予定であります。周知については、広報にも簡単には掲載されるのですが、やはり、実施する地区の方が来ていただくのが望ましいところもあるので、各センター・公民館の職員とも協力しまして、回覧で周知していきたいと思します。

○坏委員 点検内容等ほどの程度されて、お声かけしているのかということと、あと、自転車屋さんで無料点検がありましたら教えてください。

○事務局(佐藤(防犯)) 点検内容としましては、ハンドルが曲がっていないかとか、ブレーキ、ベル、あと、ペダルを回して、チェーンの部分ががたがたと緩んだりしていないかとか、このタイミングで空気と、タイヤがすり切れていないかとか、そのあたりも見ています。そのときに、空気が少ない場合は、事業に協力していただいている地域の方ですとか、市の職員で空気を入れたりしています。点検した結果、その場で直すまではしていませんが、多少ハンドルがずれているときにハンドルを直すとか、多少締められるところはやっていただくこともあります。32のスライドだと伝わらないのですが、混んでくるとかなり並んでしまうので、整備自体は直接自転車屋さんを持って行ってくださいねという御案内をしています。そのときに地域の方がチェックした項目、ここは直したほうがいいのか、ベルは交換したほうがいいのか、そういうことを記載した紙と一緒に渡しまして、お近くの自転車屋さんを持って行ってくださいと案内しています。先ほど自転車屋さんで点検という話があったのですが、実は辻堂地区で行っていないのは、辻堂地区は自転車屋さんがかかなり充実しているみたいなのです。それで基本的には辻堂地区で行ってもそこまで人が来ないというところがあるらしいのです。逆にこの中でも件数が割と多い大庭とかは、まちの自転車さんがそんなにないみたいで、この機会に点検したいという方が行列をつくっているという状態です。

○坏委員 状況がよくわかりました。ありがとうございます。自分でふだん乗っていてわからなくて、専門の方に見ていただくと、直していただくというか、自分で気にして自転車屋さんを持っていったりとかという意識が多分高まると思うので、そういうことから事故を減らすことが第一なのかと思します。またこれからもよろしく願いたします。

○岡村会長 特に補足はよろしいですか。今の説明で大体わかりましたが。特になければ

結構ですが。

ほかはどうでしょう。

○細谷委員 藤沢市老人クラブ連合会の交通安全部会長の細谷です。

一番自転車に乗られている、老人クラブではママチャリ軍団と言いたいぐらいなのですが、おい、じじい、邪魔だよとか、おい、ばばあ、もうちょっとちゃっちゃと歩けよと言われるということなのです。それを歩道と言われるのですが、歩道は歩行者優先ですから、それをなぜ歩道を走っているママチャリの方がそうされるのだと。私も実際湘南台であっています。おい、じいさん、早く行けよと。これはマナーが悪いので、マナーをもっと徹底して指導していただきたいと思うのです。うちの近くに多摩大学があるのですが、学生はそういった悪さは余りないのです。かえってママチャリなのです。学生には学校である程度教えているようです。近所に迷惑をかけないように、歩行中、迷惑をかけないようにということを指導しているようです。ママチャリの方はそういったことがないようですから、大威張りで堂々と自転車で歩道を走ってしまうということなので、これを今度の4月の交通安全週間で徹底して指導していただければと思います。また5月からは自転車マナー強化月間が1カ月間ございます。ですから、これを徹底して、自転車に乗られる方に御指導願えればと思いますので、よろしくをお願いします。

○事務局（佐藤（防犯）） 細谷委員がおっしゃったとおり、自転車の教室の対象になっていないようなお母様方にぜひ我々も啓発していきたいと思っております。そういう点でも、今回、江ノ電バスファミリーフェスタというイベントに交通ルールの周知で参加しました。イベントに出て行って啓発することで、そういう世代の方にも自転車のルールについて守っていただくようにはしていきたいと思っております。御意見、ありがとうございます。

○廣田委員 藤沢市青少年指導員協議会の廣田と申します。よろしくお願いたします。

先ほどお話がございました自転車の点検というのは、自転車屋さんがたくさんあるようなところは抜いていらっしゃるということでしょうか。

○事務局（佐藤（防犯）） これは各地区の希望に合わせて行っておりまして、例えば入っていない村岡地区については、村岡地区の公民館まつりで自転車商さんと呼んで実施しているからこのタイミングではなくていいということです。あと入っていないのが、片瀬と藤沢地区だと思いますが、片瀬地区は以前点検した際に市外の方が多かったので、1回実施したけれども、実施していないという経緯があります。

○廣田委員 私の住んでいるところは、駅から歩かれる方も多いのですが、先に大きな会社や工場があり、自転車に乗っていかれる方も結構多いです。ママチャリの走行が危ないという意見がありましたが、幼稚園の送り迎えで親御さんが路側帯が右側にあるとすると、その中を走ってくる。いわゆる車線のある道路ではないので、左端を走って行きますと、向こうから来る自転車は右側を走って来るという状況があるのです。確かに親御さんのマナーも一つ啓発の部分だと思いますが、若い男の方が乗るロードバイクとい

われる自転車は物すごいスピードが出ます。以前、私が道路の反対側に渡ろうとしたところ、止まらずに私の前を追い越して行こうとしてもろにぶつかったのです。物すごい衝撃がありまして、「済みません」と言って行ってしまったのですが、ああいったものの速度は相当なスピードだったと思います。市販されているのですから、スピード制限はできないのかもしれませんが、とても多いものですから、もっと高齢な方にぶつかったら、それこそケガだけではすまなくなってしまうと思います。自転車も乗れば車両ですが、スピード制限について、もっと意識を高めるといえることはできないのでしょうか。若い世代の方は、啓発であったり、そういったことがもろに抜けてしまっているような気がいたします。子どもたちが通学する時間帯ではないにしても、結構すごいスピードで走っていかれます。私もアシストつきなので、気をつけてと言われておりますが、2車線でない道路を左右に扱いながら走りすぎて行く自転車を見るたびに、自転車の乗り方について今少し警察の方との連携を図りながら前向きに取り組んでいただけたらと思います。

- 岡村会長 啓発対象とか、内容については、ぜひ引き続きということかと思えます。1個1個は確かに個別ではあるのですが、全体として守られていない状況とか、事故につながりやすい状況があるので、ぜひということですね。これはよろしくお願ひします。来年度のことも含めて次の議題がございますので、そのときにまたあわせて御発言をいただければと思います。このタイミングで何か御発言はございますか。よろしいですか。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

- 岡村会長 それでは、議題(2)平成30年度の実施予定施策について、事務局から御説明をお願いします。

〔(2)平成30年度の実施予定施策について説明、省略〕

- 岡村会長 それでは、平成30年度ということで、何か御発言、御質問はございますでしょうか。

- 澤田委員 3. 議題(2)の55ページ、善行駅東口自転車等駐輪場ですが、先週の日曜日に全て見てきました。善行駅東口自転車等駐輪場は、今使っているところが今度新しく有料になると思います。うちのほうは坂のまち善行というぐらい、高いところから低いところまでありますので、原付、バイクが多いのです。東口自転車等駐輪場が、体育センターの壁沿いの下のところだと思いますが、右側がすごく長いところですが、右側が全てバイクでした。自転車のところが左側だったのですが、6分の1ぐらいが原付がとまっていた。若い男の子が来ましたので、これはいつもこのぐらい埋まっているのと言ったら、日曜日だから少なく、ふだんはもっとすごいですよと言われたのですね。

280台ということですが、下のところを見ると、どう計算しても280台にならないのです。オダクル善行第2というのは民間会社で、1カ月後ごとに料金をいただいているのですが、2000円なのです。善行駅西口の自転車駐輪場は藤沢市の管轄なので、値段は少し安くて1500円、3カ月が4500円、6カ月で9000円となっているのです。今、280台を検

討ですが、相当な数が来るので、足りなくなってしまうたらどうするのかなど思っています。

それと、善行駅西口の自転車駐輪場なのですが、1カ月1500円、3カ月4500円、6カ月9000円と、計算すると、全て1カ月ずつの金額で、普通、3カ月とか、6カ月、たくさんとるときは、少し格安になるのではないかと思いつつ、少し見てみたのですが、これからの有料駐輪場のときは、少し下げてほしいというのが希望です。

要するに、東口の自転車駐輪場がこれだけの分で足りるかということです。

○事務局（松木） 善行駅東口について御説明させていただきます。

現在、自転車についてですが、民間の駐輪施設で空きがそれなりにございます。現在、東口の無料駐輪施設が、無料ということで、どうしてもぎゅうぎゅうにそちらのほうに自転車を多数停めてしまっている状況なのですが、有料化に伴いまして、無料という利用者にとっての長所がなくなりますので、民間のほうも含めて、空きもあわせれば、これだけの台数で足りるというふうにはこちらでは考えております。また、有料化に伴いまして、今まで自転車等を利用して人が利用しなくなる人もそれなりにいらっしゃると思いますので、それらを考慮して、この台数としております。

また、バイクの話ですが、昨年4月に供用開始いたしました善行駅西口が、現在、原付の利用率があまり高くない状況となっております。ですので、善行駅は坂が比較的多い地区ですが、バイクであれば東西の行き来もそこまで大きな労力にならないと考えておりますので、足りない分に関しては、西口のほうへの誘導も考えております。

○事務局（青柳） 道路河川総務課の青柳と申します。

料金なのですが、これは御要望ということで承ります。ここは学校もありまして、自転車は長期で借りる方もいますので、その辺は、料金の長期の割引に関しては、将来的な市内全体の検討ということで、御要望というかたちで承らせてもらいます。

○岡村会長 ほかはいかがでしょうか。平成30年度については大体よろしいですか。では、御質問がありましたら、また後のほうでも時間がございますので、よろしく願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○岡村会長 それでは、(3)藤沢駅周辺における自転車利用環境づくりにつきまして、御説明をお願いします。

〔(3)藤沢駅周辺における自転車利用環境づくりについて説明、省略〕

○岡村会長 事務局からの説明が終わりましたが、御意見や御質問がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○澤田委員 私も2年間、こちらでお世話になりました。ありがとうございました。

最初から観光客に貸し自転車をということで前から申し上げているのですが、北海道で、アジアの大国が貸し自転車に参入するというニュースを見まして、この前、こちらで申し上げたことがあるのです。モバイクという自転車なのですが、30分で50円という、

本当に安い金額で、これはその国の自転車なのです。やはり事故があったら危ないと思ひまして、もし藤沢にそういうのが来たらどうするのかと思ひて、話をしたのです。これは8月から11月の試験的に行つたということで、札幌市役所に伺ひましたら、今は白紙状態で、向こうも何も連絡がないということで、それでは参入しないのかと思つたのです。

藤沢市の場合、インターネットで見ますと、貸し自転車屋さんが7店舗ぐらゐしかないのでですね。それでお米屋さんでやっていたり、駐輪場の運営会社が行つてゐるのです。この前、藤沢のサイクリングマップを会議のときにいただきました。江の島のところに貸し自転車屋さんが載つてゐまして、とても感じがいいので、全国から来るといふので、台数を聞きましたら10台しかないといふのです。ですので、これからオリンピックのときに外国の人たちが来て、自転車に乗りたいといつても、10台ではちょっとと思つたのですが、一応1500円とおっしゃっていました。

横浜で、以前お話ししたと思ひますが、放棄した自転車を無料で貸すといふのがM Mのところであつたのです。これがなくなつてしまつたので、どうしたのかと思ひましたら、セブンイレブンが貸し自転車に参入したといふのをテレビでやつてゐたので、セブンイレブンに電話をかけて聞いてみたのです。これは横浜とドコモが提供しまして、横浜と小田原なのですが、大きな都市だと思ひますが、貸し自転車が500台あるそうなのです。57カ所で、自分の好きなところで返せる、簡単な手続で借りられるといふことで、30分150円、30分ごとに150円で、月2000円出せば使い放題といふことなのです。これですと観光客でなくても、我々市民でも自転車がない人とか、ちょっと自転車に乗つてみたいといふ人にもいいのではないかと思ひます。これからオリンピックに備えて、たくさん観光客が来ますし、江の島なんかもととてもいいところがいっぱひありますので、歩くのもいいのですが、自転車に乗つて、快適に藤沢の観光を回つていただけたらと思ひます。2年間、貸し自転車、貸し自転車と私は言つてゐましたが、提案させていだきたいと思ひます。2年間、ありがとうございました。

○岡村会長 ありがとうございます。シェアバイクは本日の話題には全くないのですが、お答えは特に結構ですが、シェアサイクルについて市として何か考えているとか、考えていないといふことがあつたら、せつかくです。お答えがないなら、ないといふふうにおっしゃつていただければ。

○事務局（北村） 2年間、いろいろな御意見をいただいた中で、何度かシェアサイクルについては協議会の中でもお話をさせていただいてゐますが、なかなか進捗がお見せできていない状況もあるかと思ひます。今まで採算性、運営費用の黒字化が難しいといふところもありまして、いろいろな先事例を各自治体に聞きますと、運営補助として多くの金額を出している例もありまして、そういった点が課題となつてゐました。ただ、シェアサイクル、レンタサイクルも始まつて数年たつた中で、幾つかシェアサイクルをメインとしている事業者から、事業費の面でも運営費用の補助を必要としないよう

な事例が今年度の夏ごろから急に幾つか出てきまして、そういった課題はクリアされてきております。先ほどおっしゃられたように、観光目的の交通ですとか、地域の状況とか、さまざまな面で、課題解決に寄与するかと思いますので、市といたしましても、シェアサイクルにつきましても、導入に向けた検討は引き続き進めてきております。

ただ、場所につきましては、まずは江の島周辺をメインとしてやっていこうという考えがございますが、藤沢駅周辺につきましてもさまざまな課題がありますので、視野に入れてきております。検討の現状としましては、さきほど申し上げたように費用の面で少しくリアできそうなどころは見えてきたのですが、次に課題となっているのは、ステーション用地、貸し自転車を置いておくような場所について、駅周辺のようなそういった利便性の高いところでの確保が今課題となっていますので、そういったところもクリアしながら、実現に向けて検討を進めていきたいという状況になっております。

○澤田委員 それに伴ってのことなのですが、駐輪場が買収とかで難しいというので、セブンイレブンが参入したのではないかと思います。セブンイレブンの駐車場の一角を貸し自転車の設置にするという話をちらっと聞いたことがありますので、藤沢市だけでやるのは相当なお金がかかったり、大変ですので、大手で、もしできるのであれば、これは姉妹都市ばかりの大きなところなのですが、オリンピックも藤沢で種目がありますので、そういうときに市民の足にもなると思います。検討していただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○岡村会長 駅周辺ということではいかがでしょうか。

○杉山委員 杉山と申します。

駅周辺の具体的は難しいと思うのです。藤沢駅は藤沢市の正面玄関ですので、御指摘のとおり、混雑が極まっておりますので、費用の傾斜配分をして、重点的に何らかの対策を練っていただく必要があるのではないかと思います。

それから、せっかく導入エリアとラインをつくっても、無視する方も多うございますので、シニアの方を活用されて、半分ボランティア、半分有償で、誘導員的な方をたっぷり置いて、集中的に指導する体制をしないと、先ほどのママチャリ以外にも多くの方がいらっしやると思いますので、御検討いただければと思います。

それから、私も今日で最後なものですから、漠とした質問ですが、漠としたお考えで結構です。藤沢の財政も大変厳しいと聞いておりますが、中短期ではなくて、中長期的な計画としては、プランにも懸念する材料はあるのでしょうか。それから、オリンピックということで、藤沢というのでしょうか、江の島も注目を浴びているのですが、オリンピックを意識したスポット的な対策、このプランとは関係ないかもしれませんが、御検討中のものがありましたら、差し支えない範囲でお話しいただければ幸いです。

○岡村会長 中長期というのであるかどうかというところで、何か御発言できることはありますか。ありませんということであれば結構ですが。

○事務局（額賀） 中長期という視点ですと、先ほど冒頭で説明しました自転車のネット

ワークというものを全市的に構築させていただいています。そういう意味では、未整備の都市計画道路ですとか、改築が済んでいない道路がまだある中で、長い目で見えていく、そういう道路の構築と自転車の走行空間を合わせて考えていかなければいけないのですが、どうも道路の整備と一緒に伴ってやりますと、先ほど言った、走行空間だけの整備とは違って、多大な費用もかかってきますので、そういった意味ではそういったものが1つの課題かと思います。現状では、今ある道路の中をうまく再配分して、通れる空間をつくっていくところを、中短期的の目標として進めておりますが、長期的な財政の問題も、新しい道路の構築にあわせて、自転車も配慮した道路設計をしていくところを心がけていきたいと考えております。

○岡村会長 ほか、どうでしょうか。駅周辺はなかなか難しいのですが、率直に意見は欲しいというところは理解はできつつ、一方で、市はずっと見ているわけなので、要はどんな自転車をどんな利用をしていただきたいか、または、こういう利用はできるだけしてほしくない、例えば電車に乗るときは歩いて行ってほしいが、買い物はぜひ自転車なのか、どんな距離帯から来てほしい、または来てほしくないというところがあって、そのために何かをするかなのですね。今日だと、何をしますかと聞かれても、どういう自転車は使ってほしい、使ってほしくないというところとセットなので、そこは事務局としてもなかなか整理はできないと思いますが、そこもあわせて言っていただけると、またいろいろな御意見が出るかと思います。

何でこういうことを言うかという、例えば事例で、京都の四条河原町とか、ここは地域で物すごく喧々諤々で、いまだにまだ論争中ではあるのですが、でも、全部完成して、9割の方は非常にいいねと言っているのですね。1割ぐらいの方は、まだまだこれはどうか、かえってひどくなったと言う人もいます。これは交通を我慢していただいて、こういう人には、より快適に使っていただくところをきちんと議論して、ようやくできたところなので、そこは難しいですが、市としては形というか、どういう自転車は欲しい、または困るという考え方は示していただくと、それに対して、いい悪いが市民も言えるのです。そうでないと、駐輪は困りますとか、駐輪場が欲しいです、終わりになってしまうので、そこは中長期ではないですね、短中期でぜひやっていただけたらいいかと思います。

福岡の天神というのも、よさげに見えるのですが、結局、これ、朝9時前にオフィスの人が全部埋まってしまうのですね。100円払うコインの駐輪場が歩道脇にあるのですが、デパートが開店するころにはほとんど埋まってしまっているのですね。なので、頑張っているのですが、苦勞もしているところです。なので、どこも大変です。市もぜひ継続的に考えていただければと思います。

ほか、どうでしょうか。

これは市民委員の方は今回で任期の方もいらっしゃいますが、委員の方、委員でない方も、藤沢市民である限り、市民でなくなっても、来訪されるのであれば、ぜひ御意見

を言っていただければいいかと思います。

予定時間が5時とされていますので、(3)も含めて、全体を通して御意見があれば御発言をいただきたいと思いますが、委員の皆様、何かございますか。

○細谷委員 矢羽根はどのぐらいの期間で補修なさる予定でしょうか。先ほど聞いたら、膨大な費用がかかるのですね。わずかの間に、既に大分傷んでいる地区があるわけですよ。車道ですから、どうしても矢羽根のところを走るトラックも出てくるわけですね。すれ違い段階に。そうすると、傷みが早いということなのです。そういったこともこれから研究課題になるのではないかと思います。

○岡村会長 新規だけではなくて、メンテナンスはかなり大事かと思います。薄れているところはこれからきっと出ますよね。既にありますか。ぜひそこは。何か発言があればお願いします。

○事務局（西山） 道路整備課です。

まさにおっしゃるとおり、これから道路の矢羽根とか、ほかの区画線も含めて、道路の施設をどのように寿命を延ばす、あるいは補修をしていく、そこには経費をどのように軽減しながらやっていくかという大変大きな問題に通じる御指摘だと思います。矢羽根については、自転車の全国的な問題があって、走り方、走る場所を示していくということで、今整備を始めていますが、藤沢市としてもまだまだ始まったばかりで、そのところをいつのタイミングで直すかについては、これから検討していくというか、課題として認識していく部分だと思います。通常の横断歩道でも、警察の所管ですが、消えている部分で、課題としてもあるのかもしれませんが、我々がやっている外側線もそうです。御指摘のとおり、通行量によって場所場所が変わってくるところもあるかと思えます。そういう中では、今、何年後ぐらいに定期的にといいのははっきりとは言えないのですが、やはり10年前後ぐらいの単位で直していくようになっていくのかと今の時点では感じておりますが、これからの1つの検討すべき課題だと思っております。貴重な御意見、ありがとうございます。

○岡村会長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

一通り議事は終わりましたが、事務局からいただいている資料では、委員の皆様の任期が間もなく2年で終了で、各機関から出ていらっしゃる方は、この協議会が続く限りは、その役職の方に出いただくこととなりますが、公募の市民委員の方は1つの区切りとなります。せつかくですので、一言ずつ、3名の委員からいただければと思います。

○坪委員 2年間お世話になりました。ありがとうございます。

湘南台地区なので、湘南台に引かれた矢羽根のところとかを見て、自分で走ったりしてみましたが、幅が狭かったりして、快適に走れるという感じにはまだ少し足りないかと思うところもありましたが、いろいろ試行錯誤していきながら、走行空間を歩行者と車道と自転車とが危険がなるべく少なく走れるようなところを目指していただきたいと思います。また、委員が終わっても意見を出していこうと思います。よろしくお

願いたします。ありがとうございました。

○澤田委員 2年間、短いような感じでしたが、どうもありがとうございました。

私が一番最初に、1回目のときですが、藤沢のさいか屋寄りの駐輪場を見学させてもらいに行ったことがあるのです。右と左と分かれていますのですが、2階建てのところがありまして、2階に持っていくには、坂をずっと上っていかなければならないというのを私も体験させていただいたのですが、ゆとりがありましたら、あそこに業務用のでもいいですから、エレベーターを設置してあげたらなというふうに私はあのときに思いました。

それとあと、1カ月幾らというので、単発に来る人とまた別なのですが、1カ月でお支払いになっている人はみんな下なのですね。時々単発で来る人が2階です。2階というか、左側のところは1階しかないのですが、自転車が下と上とに分かれていて、上が全部単発で来る人ということですので、それも年寄りだったらどうなのかと思うのです。あそこの方たちは皆さん立派で、一生懸命やったださっているようで、どうしても大変な人は別の棟をつくって、ここに置かせているのですと言っていましたので、もしゆとりがありましたら、エレベーターを考えてあげてください。願いたします。

○杉山委員 2年間、長いようで短い期間でしたが、皆さん方の貴重な御意見をお聞かせいただき、大変参考になりました。ありがとうございました。口幅ったいのですけれども、このプランのテーマは、経済の活性化とか、市民生活の住みやすい環境づくりとか、安全の推進とか、高齢者問題とか、あるいはインフラ整備と費用の問題が多様なテーマとリンクしておりますので、本当に苦労は多いと思いますが、各諸機関の皆様との連携を今後とも密にさせていただいて、プランの推進に取り組んでいただければと思います。私も、先ほど先生がおっしゃいましたが、一市民として今後ともプランの理解と普及のお手伝いをさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

○岡村会長 2年間、協議会に参画いただきまして、どうもありがとうございました。

あとの進行は事務局で願いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

○事務局（佐藤） 事務局から何点か事務連絡をいたします。

本日の協議会を受けまして、後日、お戻りになって、お気づきになった点ですとか、御不明な点等ございましたら、私ども、都市計画課のほうまで御連絡いただければと思いますので、よろしく願いたします。

また、次回の協議会の日程ですが、例年どおり、8月ごろを予定しております。先ほどから話が出ていますが、現在の委員の任期はまだ残っているのですが、次回の開催よりも前に任期が切れることとなります。そのため、今の任期の委員の方々につきましては、今回が協議会としては最後になります。2年間になりますが、本市の自転車施策の推進に御協力いただきまして、まことにありがとうございました。

市民委員の皆様につきましては、次回会議の前に市民公募で委員の改選を行うことに

なります。委員の再任を妨げるものではありませんので、よろしければまた御応募いただければと考えております。

その他の委員につきましては役職をお願いしているところもありまして、次期2年、できれば引き続きお願いしたいと考えております。市民委員の公募の時期とあわせまして、また後日改めてお願いに上がりたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

以上をもちまして、第8回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会を終わります。本日は、長時間にわたる御審議、まことにありがとうございました。

午後5時28分 閉会